未来デザインBot.

今の自分に向き合い、これから進む未来を描いてみましょう。
目標や具体的な行動を書き出して定期的に振り返り、時には書き直すことで、自分らしい未来への指針となります。

STEP 1 今の自分について書いてみよう

1年以内にできるようになりたいことってある?	心に残っている本や漫画のセリフを教えて!	友だちから褒められる長所って、どんな部分?	時間を忘れちゃうくらい、好きなことは?

STEP 2 あわら市のことを考えてみよう

あわら市っていいところだよね。
どんなところが好き?

もしあなたが市長になったら、
「この街にほしいもの」って何だろう。

STEP 3 将来を考えてみよう

将来は、どんな職業に就いてみたい?
どんな社会人に憧れる?

そのために、
勉強しておくといいことってどんなこと?

暮らしたい街へ、確かな一歩。

ワークショップは意見が飛び交い、大盛り上がり。藤井さんは、アイデアの“種”を眺めながら「今のあわらは足りないものがあるからこそ、新しい挑戦ができる。まずは気軽に動き出したい」と笑顔で話します。伊藤さんも「遊びの役割を県外に託すという発想は目から鱗。空き家ツアーに参加してみたい」と興味をのぞかせました。「自ら動いて街を変えるのは面白そう。僕はラーメンのスープ開発から始めてみようかな」と意欲的なのは中嶋さん。そして大井さんは「人口減少は深刻ですが、すぐに結果を求めるのは時期尚早。あわらでやってみたいことや、暮らしが成り立つ仕事ができれば、人はきっと戻ってきて、子どもも増えていくはず」と期待を込めて語ります。あわらで暮らす人々の想いとアクションが、10年後も住みたい街をつくる第一歩になりそうです。

初対面でも、「あわら市在住」という共通点があると和やか。思いついたことを気軽に発言し、アイデアが深まっていく

知り合いの知り合いは、知り合い

あわらの良いところ

◎ 良い人が多い!
湯かけまつりでは「あわら好き」と知り合える

人のつながり

ここはいまひとつ

△ 人が少なく、子ども会などが廃止に…
→ あわらを「人が集まる場所」にできないか?

案6 大人も学べる「あわら大学」を開校

あわらにソーシャル系大学を開校する。日々トークイベントや授業が行われ、あわらの関係人口が増加。
10年後には「あわら=大人の遊び場」になったりして。

大人が楽しそうな街は、
子どもにも良い影響がありそう

△ あわらを出ていく人が多い
県外に出ることが、なんとなく罪悪感…

案5 「県外に出ることは素晴らしい」というマインドセット

人の流出が多くても、10年後に経験を積んでUターンしてくれたら、さまざまな知見があわらに集積!「地元を離れることは地元貢献」という認識に変え、すでに県外に出ている人を褒める。
そして、出る人を褒めて送り出す。

あわらとの縁を途切れさせないことが大事!

その他の意見は、
WEB版
ブリッジで公開

ほかにこんな意見も

新しい人が住めば、町内会に新たな風が!

あわらの空き家ツアーを開催

建物や街の歴史を学びながら、
住む場所として空き家を見て
探検できたらいいな。